高齢者虐待は身近な社会的問題です

尾道市では、高齢者虐待の相談は年間約150件もあり、私たちの身近なところで高齢者や家族が苦しい思いをしている現状があります。

一人ひとりが身近な問題として介護や認知症について関心を持ち、地域ぐるみ・地域のネットワークで、高齢者と介護者を地域で見守り、支え合っていきましょう。

問高齢者福祉課(☎0848－38－9137)

こんな時、高齢者虐待が起こりやすくなります

高齢者虐待は、家庭や施設など閉ざされた環境で発生するため、表面化しにくく問題が潜在化しがちです。また、「悪意をもって」虐待しているとは限りません。介護をしている家族などが心身ともに疲労し、追いつめられていたり、高齢者のためと思ってやっていたりすることが、虐待につながっていることもあります。

①高齢者本人と介護者の人間関係
両者の性格や、もともとの人間関係の悪さ。

②経済的な問題
経済状態が苦しい、または高齢者の年金に依存した生活状態。

③重い介護負担
重い介護負担や先の見えない不安、仕事・家事と介護を両立することの難しさなどのストレス。

④病気や認知症への理解不足
病気・認知症等への理解の不足、親の認知症等を受け入れられないなどで混乱し、厳しく接してしまう。

⑤介護者の心身状態
介護者が、体調不良やアルコール依存などの精神的に不安定な状態。

あなた自身が虐待をしないために介護の負担を一人で抱え込まないで

▶「周囲の協力を得る」
一人で頑張り過ぎないで、家族や周りの人の協力を仰ぎましょう。

▶「専門機関に相談する」
介護は、心身ともに大きな負担になりがちです。一人で悩まず、かかりつけ医やケアマネジャー・地域包括支援センター等に相談しましょう。

▶「いろいろなサービスを利用する」
介護保険サービスやその他のサービスも上手に利用して、介護負担を減らしましょう。

虐待を受けている高齢者の多くに認知症の症状がみられます。本人にあった環境や支援で、不安・ストレスが軽減されると、認知症の症状が安定することもあります。

早期発見・解決のために地域で支え合おう

▶「見守り、声をかけあう」
高齢者や介護する人を地域で温かく見守り、孤立を防ぎましょう。日ごろから、「おはよう」「こんにちは」のあいさつからはじめましょう。

▶「身近な窓口に相談する」
「虐待かな？」と感じたら、自分一人で悩まず、地域包括支援センター等に相談しましょう。

▶「仲間をつくり情報交換する」
介護を続けるためには、上手な介護の方法を知ることや、なんでも話し合える仲間を持つことも大切です。地域のふれあいサロンや認知症カフェ、民生委員などと、いろいろ情報交換して地域の絆を深めていきましょう。

地域包括支援センターにご相談ください

尾道市地域包括支援センター　(☎0848－56－1212)
尾道市北部地域包括支援センター(☎0848－76－2495)
尾道市西部地域包括支援センター(☎0848－21－1262)
尾道市東部地域包括支援センター(☎0848－56－0345)
尾道市向島地域包括支援センター(☎0848－41－9240)
尾道市南部地域包括支援センター(☎0845－24－1248)
尾道市南部地域包括支援センター瀬戸田支所(☎0845－27－3847)

地域包括支援センターは、高齢者の総合相談窓口で、市内７カ所に設置されています。社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーなどが中心となり、必要なサービス利用の紹介や、必要に応じた支援の輪を作るお手伝いをします。高齢者だけでなく、家族・近隣に住む人などからの相談も受けます。

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。
日日時・期間　場場所　対対象　内内容　定定員　料料金　持持参物　締締切
申申込方法・申込先　問問い合わせ先　☎電話　FAXファクス　e電子メール　HPホームページ